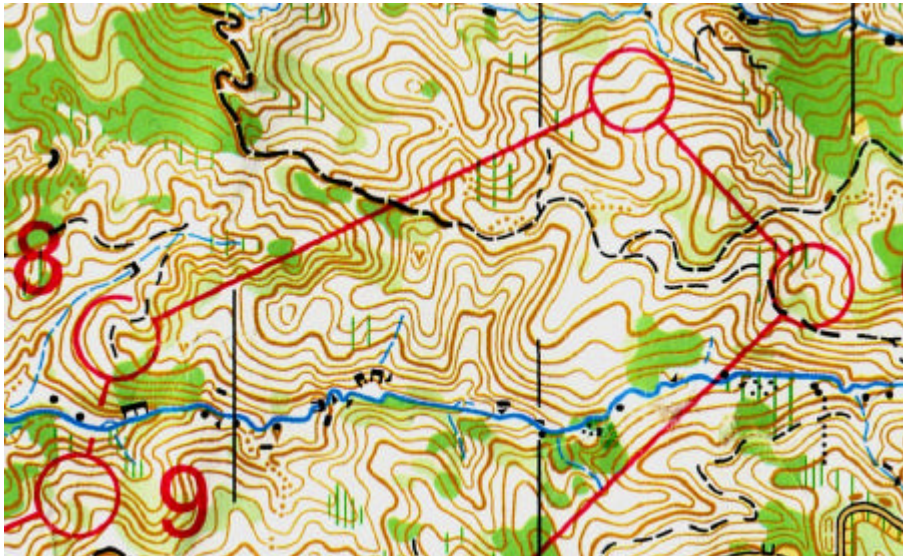


大会参加レポート  
早大 OC 大会  
2006年2月12日

# 吹雪のダウンヒル・OC 大会

木村佳司



豪快なダウンヒルナビゲーションが楽しめた早大 OC 大会。素晴らしいテレインと地図。

トリノ五輪でダウンヒルが行われているとき、もう一つのダウンヒル勝負が御殿場で行われていた。

2006年2月12日 静岡県御殿場市  
第28回早大 OC 大会

## 何もかもが白い

スタートから林道に飛び出したとき、すでに林道には雪が積もり始めていた。1番に向かって森へ飛び込むと美しい針葉樹林が広がる。どこまでも走れる通行可能度の良い森にも雪が積もり始める。静寂の中で集中力が高まってゆく。地図、風景、通行可能度そして頭の中、何もかもが白い。

降水確率0%。それなのになぜこんなに雪が降るのだろう。早大 OC 大会は「雪の大会」と言われて久しいが、そのジンはホンモノだった。

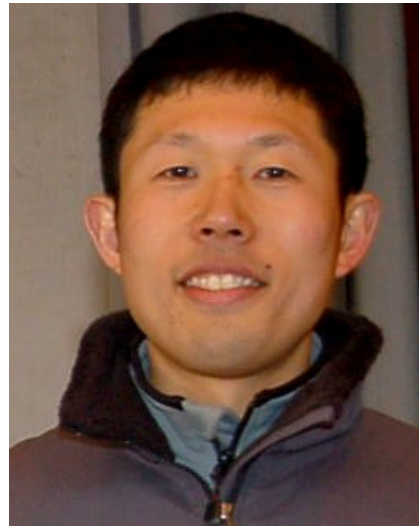
1年に1度のイベント開催に向けて準備してきた早大 OC の学生にとっては災難のような雪。それでも一所懸命に運営する姿に雪の白さのような美しさを感じる。

## ダウンヒルコース

会場からスタートまで徒歩70分、アップ230m。テレインの高い場所からスタートし、ダウンヒル基調のレース。通行可能度の良い尾根をどんどん下る。どんどん展開する風景にどれだけ速くマップコンタクトし、俊敏に下りをこ

なしてゆくか・・・時々現われる厳しい登りをどのようにルート選択してゆくか・・・筆者・木村の参加したM40Aのコースは面白い課題で溢れていた。このような自在なコースが設定できるのも、正確な地図があるからだ。

## 男子・善徳ぶっちぎり



優勝した高橋善徳（みちの会）

エリートクラスに目を向けてみよう。高橋善徳（みちの会）が優勝。2位の松澤と5分以上の差をつけている。注目すべきはその巡航速度。不整地のアップダウンが多いコースではかくも差がつくのだろうか。3月に行われる全日本大会もこの早大 OC 大会と同じように通行可能度の良い針葉樹林が使われる。全日本大会初優勝に向けて存在を大き

くアピールした。また、MEクラスには武者修行中の番場洋子ほか女子選手が挑戦し、3月に行われる全日本大会に向けて着々と調整を行っていた。また先日のジュニアチャンピオン大会優勝の宇野夏樹もMEに挑戦しエリートコースの洗礼を受けた。

## ME

1	高橋善徳	みちの会	1:01:59
2	松澤俊行	三河 OLC	1:07:18
3	寺垣内航	早大 OC-彖	1:08:21
4	柳下大	Forester	1:08:47
5	鹿島田浩二	渋谷で走る会	1:09:15
6	篠原岳夫	渋谷で走る会	1:10:49
42	番場洋子	HORIBA	1:40:04
44	加納尚子	TM.Zebra	1:44:12
45	皆川美紀子	みちの会	1:45:09
51	宇野夏樹	武相 OLC	2:07:01

## 女子・田島の貫禄



表彰台に立つ田島（みちの会）

すっかりアネゴの貫禄が出てきた田島利佳がうまくレースをまとめて女子優勝を果たした。この次のビッグレースは全日本大会になるが、今回MEに参加した女子選手がWEに戻ってくる。これをアネゴがどう迎え撃つか。

## WE

1	田島利佳	みちの会	1:14:00
2	志村直子	渋谷で走る会	1:14:42
3	斎藤早生	チーム白樺	1:19:13
4	高野由紀	東京 OLC	1:21:35
5	岩谷ひろみ	Sura SOK	1:23:54
6	元木友子	チーム白樺	1:24:11

帰る頃にはすっかり青空が戻り、春の空になっていた。目の前に広がる雄大な富士山を見ながら、テレイン近くに温泉に入る。御殿場と早大 OC の恵みを存分に感じた一日だった。

（木村佳司）